

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

個に応じた「確かな学力」の定着と、「豊かな心」をはぐくみ、将来を「生き抜く力」を身に付けさせることによって、地域や保護者から信頼される学校をめざす。

1. 地域や生徒の実情を踏まえ総合学科のメリットを生かした特色ある教育活動を展開し、社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的な学力の定着を図る。
2. 他人を思いやる心や自然や美への感性など「豊かな心」をはぐくみ、規範意識と自律心を身に付けた生徒を育てる。
3. 教職員が一丸となって『学校力』を高めあい、生徒に「生き抜く力」を身に付けさせる。

2 中期的目標

1 学力（基礎・基本的な知識、学ぼうとする意欲、学び続ける姿勢）の確実な定着に向けて

(1) 生徒一人ひとりの学力を把握し、総合学科のメリットを生かした特色ある教育活動を通じ、学力「基礎・基本的な知識、学ぼうとする意欲、学び続ける姿勢」の定着を図る。

- ア 生徒の興味・関心を高める教科・科目の設定を行い、生徒の「学ぼうとする意欲」を高め、基礎的・基本的な知識・教養を定着させる。
- イ 生徒支援の視点から、知識、意欲、適性、学習歴等の個別データ等を教職員全員が共有することで、きめ細かな指導を行うとともに、学校教育活全般を通じ、生徒の「学び続ける姿勢」を定着させる。
- ウ 生徒の実態に即した授業の改善とともに魅力を向上し、卒業率の向上を図る。

(2) 生き生きとした活力ある学校組織と魅力ある授業をめざして

- ア 教員としての全般的な力量を高めるため、本校伝統の協働の姿勢を重視した学校運営を行うとともに効果的な職員研修を実施する。
- イ 魅力ある授業を推進するため、ICT機器の活用を推進するとともに、アクティブ・ラーニング（AL）の授業の取組みを29年度から進め、31年度には全教科で取組み、生徒の授業満足度80%以上を定着させる。

2 「豊かな心」と規範意識を身に付けた生徒を育てる

(1) 規律・規範のある学校環境をつくり、様々な活動を通して、豊かな心と自律心をはぐくむ取組みを推進する。

- ア 生徒の自主性を育てる取組みを実践するとともに、地域への奉仕活動ができる学校をめざす。
- イ 多様な学校行事や系統的な教育プログラムを通じ、質の高い生徒の集団づくりを行うとともに、生徒・保護者の学校満足度90%以上を維持する。
- ウ 規律・規範のある学校環境をつくり、社会ルールを順守する姿勢を育成するため、予防的・開発的生徒指導をすすめ、生徒の自律心をはぐくむ。

(2) キャリア教育、人権教育の推進

- ア 3カ年を見通した進路指導計画に基づき、在校生の就労率や就労体験率を向上し、卒業時の進路決定率100%（就職は就労率）をめざす。
- イ 互いを認め合える人権教育を実施し、差別や偏見を許さない態度を育てる。

3 生徒支援を軸にした学校づくり

(1) 生徒支援

- ア 生徒支援カードやケース会議を活用するとともに、職員研修を通じて教員の生徒支援力を向上させ、個々の生徒に応じた支援を組織的に実践する。
- イ 生徒の「居場所づくり」をすすめ教育相談活動と生徒支援の取組みの充実をはかるとともに、成果を認め長所を伸ばす教育活動を推進する。
- ウ 上記の実践を通じて、中途退学や不登校の減少に取り組み、30年度には中退率20%以下、新入生の登校率80%以上を達成する。

(2) 安全・安心な学校づくり

- ア 定時制の現状に即した防災教育を研究し実践する。
- イ 26年度から始まった大規模工事の中で、生徒の安全・安心に配慮した施設の点検や改善を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>1) 生徒：「学校満足度」98%と極めて高い。授業に関しては「教員の指導の満足度」91%、「教科、内容等の満足度」88%である。 【分析】学校満足度の高さは学校行事や生徒指導などが評価されている結果である。教員の授業力や科目指導内容に関する研究や改善を継続していく。</p> <p>2) 生徒：人権教育、防災については90%以上の肯定的回答。 【分析】生徒や学校の状況を把握した取組みができていた。</p> <p>3) 生徒：「悩みを相談できる先生がいる」89.8%の生徒が肯定的な回答。 【分析】生徒指導を含め、教員の信頼度の高さはみられるが、より高い信頼度を得るための研修等を工夫・継続していく。また先生以外の相談相手がいるか等を把握し、きめ細かい対応をする必要がある。</p> <p>4) 生徒：「有職生徒」74.6%で、「仕事等に力を入れている」71.2%と高い。一方、何もしていない生徒が22%いる。 【分析】不登校や退学の原因・理由の大半が仕事優先であることから、一人ひとりの学業と仕事等の状況を把握し適切な指導を行う必要がある。一方、卒業後の進路未定者が増えており早期からのキャリアカウンセリング、体験活動の推進、職場開拓を行う必要がある。</p> <p>5) 保護者：「学校への満足度」肯定的回答100%と極めて高い。 【分析】学校の取組みをHPやPTA総会で発信し評価されているが、回答数が26人（約3割）と少ないので、行事・懇談等を利用してひろく意見を集める必要がある。</p>	<p>6月6日 ○家では学校の様子を話してもらえないので、HPから学校の様子を確認することができるのを知った。また、内容が充実しており先生方の頑張りを感ずる。 ○クラブなどでも先生方は頑張っていて生徒を支援されていると感じた。保育所との連携について、紙芝居の読み聞かせなど、ぜひ試して欲しい。紙芝居の台をものづくり系列の授業で作らせるなど、系列間の連携を試してみようか。</p> <p>11月16日 ○校内漢字検定では生徒への丁寧な働きかけを感じる。様々な取組から一定の成果を得られていると感じる。 ○2年前から委員をしているが、学校側からの提案が広がっていると感じる。生徒との信頼関係が深まり、また校内検定など生徒に合った取組みも大きい。さらに深めてほしい。文化祭を見学したが、いきいきとして活気があった。教員の指導や努力の跡がひしひしと伝わる。生徒も楽しそうだった。また（中学の）卒業生の状況が見られたので嬉しかった。</p> <p>2月8日 ○授業アンケート結果は、全ての項目で数値が向上しているのは良い。 ○自己診断では生徒と保護者の両方の項目で全体的に数値が上がっているのは良い。教員診断でも数値は高いが、進路・生徒支援で数値が少しだけ下がっているため、取組みの確認を。 ○生徒が安定すると物事に関心を持つようになるので、引き続きその部分を引き出す取組を。 ○定時制の授業の様子などHP上の動画で詳しく見ることができたら、これから進学先を考える中学生の保護者なども安心するのではないかな。</p>

府立成城高等学校(定)

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標〔28年度数値〕	自己評価
1 基礎的・基本的な学習の確実な定着	<p>(1) 個に応じた学力の定着</p> <p>ア 基本科目の検証、改善、進級率の向上</p> <p>イ 興味関心を持たせる授業や特別活動の研究と推進</p> <p>ウ 授業内容教育課程教科・科目の再編成</p> <p>(2) 生徒のやる気を高め、活力と魅力ある授業づくりの推進</p> <p>ア 教員力の向上</p> <p>イ AL授業の推進と授業でのICT機器活用</p>	<p>(1)</p> <p>ア 学力診断テストを実施し、基礎・基本的の内容の指導の改善を図る。首席、教務を中心に定期的な教科・学年会を実施し、新入生進級率を向上する。</p> <p>イ 基礎的・基本的な知識・教養の習得のための教材をリニューアルし実践する。外部機関や専門的講師と連携した「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」等の多彩な授業を推進し、学習活動への興味関心を高める。</p> <p>ウ 不登校経験生徒の増加、学校小規模化の実態を踏まえ、学校の将来像を考えた教育課程、科目等を検討していき、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>(2)</p> <p>ア 経験年数の少ない教員が増えているため、多彩な研修を実施するとともに大学教授等を招聘しての研究授業を実施し、授業力向上させる。</p> <p>イ 平成29年度からALの授業の取組みを研究し実践する。また、ICT活用授業指導案の共有化を図り、生徒の授業満足度を向上させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 学力診断テスト報告会実施。授業アンケート肯定率80%〔71%〕 新入生進級率80%〔75%〕</p> <p>イ 一年次の授業満足度80%〔77%〕 外部機関等との連携授業数9件と「産社」「総合」の授業満足度66%以上〔9件、59%〕。</p> <p>ウ 生徒のニーズを把握し、教育課程、教科、科目を再編整備する。〔新規〕</p> <p>(2)</p> <p>ア 研修回数24回〔24回〕。研究授業年2回以上実施する。〔2回〕</p> <p>イ ALの研究授業の実施回数3回〔新規〕。 ICTを活用した授業の生徒の満足度80%〔79%〕。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 学力テストは2～4年4/11、1年4/27。報告会は5/26に実施。授業アンケート肯定率約83%〔○〕、新入生進級率80%〔○〕</p> <p>イ 一年次授業満足度90%〔◎〕。外部機関との連携講座12件（保育実習、調理実習等が新規取組み）と非常に多彩に実施できた〔◎〕。「産社」「総合」の満足度71.2%と向上している〔○〕。</p> <p>ウ 1年は4月、2・3年は12月に進路希望調査。教育課程の検討で中間報告を11/2に実施。新学習指導要領に向けて継続して検討中。〔△〕</p> <p>(2)</p> <p>ア 24回実施。7月と1月に研究授業週間。新たにALへの授業研究のレポートも実施。公開研究授業は11/6、12/15〔○〕</p> <p>イ AL取組みとして全教員が授業指導計画を作成し実施。タブレットのワイヤレス化による授業法研修実施。実施回数3回。タブレットを活用する教員は10名。全教員が映像機器、ICTを活用。生徒の授業満足度は93%と高い〔◎〕。</p>
2 豊かな心と規範意識を身に付けた生徒の育成	<p>(1) 学校生活の充実</p> <p>ア 生徒会活動の充実と地域貢献</p> <p>イ 特別活動の充実</p> <p>ウ 規範意識の醸成と感性を高める取組み</p> <p>エ 生徒指導法の工夫</p> <p>(2) キャリア教育、人権教育の推進</p> <p>ア 進路指導体制の構築</p> <p>イ 互いを認め合える人権教育と保健教育の推進</p>	<p>(1)</p> <p>ア 体育祭、文化祭を生徒会中心に盛り上げる。生徒参加の地域清掃を2回、あいさつ週間を3回計3週間実施する。また、生徒会等による魅力ある学校行事を新たに設け、生徒の学校満足度を高める。</p> <p>イ 豊かな心をはぐくみ、学校生活を充実したものにするため、部活動体験入部などの取組みを行う。夏季休業中等に読書Dayを設けるなど、学校へ登校の機会を設ける。</p> <p>ウ 「規範意識を持たせるためのLHR」実施し、規範意識の向上を図る。</p> <p>エ 予防的・開発的生徒指導を重視し、教職員一同で生徒の自律心を高める生活指導を推進する。スマホ指導に取組むことと、授業規律と学習の雰囲気改善を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア 体系的な進路指導計画により、学年学期毎にキャリア教育に関係するLHR等を行う。職業体験や社会体験を実施、アルバイト等の就労を促進することで全校就労率の向上と勤労観をはぐくむ。</p> <p>イ 良好な人間関係や集団づくりのため、本校生に有効な人権HRや保健教育を各2回実施する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 行事の生徒満足度90%〔91%〕。 地域清掃、あいさつ運動の実施回数。〔2回、3回〕 魅力ある新行事2回。</p> <p>イ 活動部活動数と入部率60%、12〔58%、12〕、図書館利用生徒数〔新規〕</p> <p>ウ HR実施時間16時間〔16時間〕 生徒指導の肯定率80%〔79%〕。</p> <p>エ 停学者過去3ヶ年平均の4人以下〔2人〕。 生徒の参画による啓発活動2回実施する。〔0回〕</p> <p>(2)</p> <p>ア 就労率を75%〔71%〕。職業・社会体験等10人以上〔13人〕 就職内定率80%〔80%〕。</p> <p>イ 人権教育と保健指導の取組み回数、生徒と教職員の肯定率68%、100%〔75%、100%〕。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 文化祭・体育祭の生徒満足度は89.8%。地域清掃は7月と12月の2回、あいさつ運動は4月、8月、1月の3回実施〔○〕 球技大会に新種目ソフトバレーボールを導入。12月に古典芸能（落語）鑑賞を実施〔○〕</p> <p>イ 部活動活動数12、入部者数延べ47名。入部率57%〔○〕。夏期冬期休業中の図書館開館9日。利用数延べ3名。活性化を進めたい〔○〕</p> <p>ウ 計画通り16時間実施。生徒は86.4%が本校の生徒指導には納得していると肯定的な回答であった〔○〕。</p> <p>エ 停学者2件（2名）〔◎〕 全校集会でのスマホ指導、教員による校舎巡回での声掛けの実施〔◎〕。生徒参画による啓発活動は生徒会新聞を初めて発行した。1回〔△〕。</p> <p>(2)</p> <p>ア 就労率は74.6%、職業・社会体験等については15人〔◎〕。企業訪問（27社）実施〔○〕。就職内定率80%</p> <p>イ 人権教育2回、保健指導3回実施〔◎〕 生徒・教員肯定率84.7%、100%〔○〕。</p>
3 生徒支援を軸にした学校づくり	<p>(1) 生徒支援</p> <p>ア 個別の生徒支援の取組みと効果的な生徒指導の充実</p> <p>イ 承認行為と長所を伸ばす取組み</p> <p>ウ 居場所づくりをすすめる、不登校及び退学者の減少</p> <p>エ 食育指導の実施</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり</p> <p>ア 防災教育</p> <p>イ 工事対応</p>	<p>(1)</p> <p>ア 本校独自の生徒支援カードを活用し学校全体での支援情報会議を年3回開催する。また、ケースカフェを開催し、効果的な生徒支援に取組む。</p> <p>イ 校内検定や資格制度等を新たに創設しなど表彰を行う。履歴書に書ける各種検定等の受検を勧め、生徒の長所を伸ばす取組みを推進する。</p> <p>ウ 高校生活になじめない新入生対策等を中心として保健室等での相談活動を充実させるなど、居場所づくりを推進する。また中高連携の取組みを推進し、新入生の登校率を向上させる。</p> <p>エ 生徒の健康維持の啓発教育を実施するため、食育の指導を行う。</p> <p>(2)</p> <p>ア 「生命を守る」防災HRの実施。</p> <p>イ 大規模工事の中で、教員と行政が連携し生徒の安全対策と指導を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 支援情報会議、ケースカンファレンスの実施回数と教職員の肯定率100%〔100%〕。</p> <p>イ 校内検定等の取組み数3件、検定受験数5人。〔0、3人〕基礎学力検定（仮称）の実施。〔未実施〕</p> <p>ウ 教育相談の生徒肯定率75%〔73%〕。入学生登校率80%〔80%〕。中高連携回数〔新規〕 退学者数前年比20%減〔45%減〕。</p> <p>エ 食育指導の啓発活動を4回、授業・HRを年2回実施するなど取組みを行い生徒の肯定率70%。〔4、2回、未測定〕</p> <p>(2)</p> <p>ア 現状に即したHRを2回実施。肯定率95%〔2回、94%〕。</p> <p>イ 仮設棟、北館付近での安全点検と指導3回実施する。〔0回〕</p>	<p>(1)ア 支援（ケース）会議3回実施〔○〕 各学年による教科担当者会議も随時実施。肯定率90%とやや低下。引続き会議内容や効果的な指導について検討〔△〕</p> <p>イ 校内漢字検定を新たに実施。ワープロ検定、漢字検定への取組みと合わせて取組数4件、受験数22名〔◎〕</p> <p>ウ 教育相談の生徒肯定率89.8%〔◎〕 入学生登校率74%〔△〕。 1年次担任による出身中学校訪問、各年次担任による家庭訪問、保護者への電話連絡。1年生は出身中学へ暑中見舞い・年賀状発送の実施に取組んだ〔○〕 退学者数9人と昨年比10%減〔△〕。</p> <p>エ 食育指導については、授業を中心に実施。食育だよりを年間2号発行しHRで指導。生徒肯定率は未測定〔○〕</p> <p>(2)</p> <p>ア 交通安全、避難訓練防災教育の実施とHRで防災啓発。生徒肯定率93%〔◎〕</p> <p>イ 教職員がLED懐中電灯を所持して毎日巡回とHRでの解体現場の注意指導。仮設トイレ誘導路、正門付近への照明設置。〔◎〕</p>